

宝塚市住宅耐震化促進事業
補助事業実績報告書

建築指導課に提出する日付を記入。 令和〇〇年〇〇月〇〇日

(宛先) 宝塚市長

(申請者)

郵便番号も忘れず記入。

住所	〒665-0032 宝塚市東洋町1-1
氏名	(※団体の場合は、団体名、役職及び代表者氏名) タカラヅカ タロウ 宝塚 太郎
電話番号	0797-77-1141
電子メール	m-takarazuka0000@city.takarazuka.lg.jp

(上記代理人)

氏名	※事業所等の名称、役職及び担当者氏名 〇〇株式会社 建築 一郎
電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
電子メール	〇〇〇〇@〇〇〇〇

交付決定通知書の日付・番号を記入。

申請年度に注意。

令和〇〇年〇〇月〇〇日付宝建指第123号をもって交付決定のあった、令和〇年度宝塚市住宅耐震化促進事業事業（簡易耐震改修工事費補助）を下記のとおり実施したので、宝塚市住宅耐震化促進事業実施要綱第12条の規定により、その実績を報告します。

記

交付決定を受けた住宅の概要及び事業内容等

住宅の所在地	宝塚市東洋町1-1		
住宅の所有者氏名 <small>(団体の場合は、その名称及び代表者氏名)</small>	宝塚 太郎	住宅の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 (長屋・アパート等) <input type="checkbox"/> マンション (3階以上かつ1,000㎡以上)
補助のメニュー※1	簡易耐震改修工事費補助		
補助金の額等	補助事業の対象となる経費		補助金交付決定額
	1,350,000円		500,000円
事業の期間※2	着手 (令和〇年〇〇月〇〇日) 令和〇年〇〇月〇〇日	完了	(令和〇年〇〇月〇〇日) 令和〇年〇〇月〇〇日

※1 補助のメニューは、次のいずれかを記載

- ・住宅耐震改修計画策定費補助、
- ・住宅耐震改修工事費補助、
- ・改修工事費補助、
- ・屋根軽量化工事費補助、
- ・シェルター型工事費補助、
- ・防災ベッド等設置費補助

※2 交付決定を受けた内容を上段()に、下段()に記入すること。

市町受付欄	<p>上段：()内は交付申請書に記載した予定年月日を記入。</p> <p>下段：実際の契約日（契約書の日付）、代金支払日（領収書の日付）を記入。</p> <p>※契約日は交付決定日より後の日付</p>
-------	---

令和〇〇年〇〇月〇〇日

補助金精算書

領収書の日付より前

住宅改修業者登録制度の登録番号を記入。

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第 〇〇〇〇 号
所在地 〇〇市〇〇 〇-〇-〇
会社名 (株) 兵庫工務店
代表者名 兵庫 次郎

下記のとおり精算致します。

契約書・領収書の金額と同じになります。

(簡易耐震改修工事費補助)

Table with columns for residential details (owner, location, type) and cost breakdown (total cost, subsidy eligible costs, subsidy amount).

- ※1 住宅の建て方
※2 所得が1,200
※3 補助対象金額の内容が分かる内訳書を添付すること。

【補助金額(g)の算定表】

Table for calculating the subsidy amount (g) based on residential type and eligible costs.

耐震診断報告書

宝塚 太郎 様

補助金交付申請者名を記入。

耐震診断者氏名 **建築 一郎**
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 43210 号
建築士事務所名 (株) 〇〇建築設計事務所
(一級) 建築士事務所 (大臣) 知事登録第 98765 号

宝塚 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

記

診断方法、根拠となる書籍名(〇年版も含めて)などを具体的に記入。

1 住宅の名称	宝塚 太郎 邸
所在地	〒665-0032 宝塚市東洋町1-1
2 耐震診断の方法	「2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法」による一般診断法
3 改修前における耐震診断結果 ^{*1} 評点 <u>0.49</u>	(所見) X方向・Y方向とも開口部が多く、既存壁量が不足していることから、上部構造評点が1階X方向0.49、Y方向0.72となっており、倒壊する可能性が高い。
4 改修後における耐震診断結果 評点 <u>0.75</u>	(耐震改修の方針) 屋根の軽量化と耐震壁をバランスよく配置することにより、上部構造評点は両方とも0.7を上回り、耐震性能の向上を図る。 (具体的な補強方法) (1) 耐震壁(モイスかべつよし)をバランスよく追加、増設する。 (2) 屋根を瓦からスレート板瓦に葺き替え、軽量化を図る。
5 備考	

【添付資料】耐震診断計算書(改修前後)

改修前における所見、耐震改修の方針等については、Is値など定量的な指標を示しながら出来るだけ具体的に記述して下さい。

交付決定通知書の日付・番号を記入。

令和〇〇年〇〇月〇〇日

耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、令和〇〇年〇〇月〇〇日付宝建指第 1 2 3 号の交付決定通知書のとおり実施しており、当該申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、補助金交付決定通知書別紙第 2 項に規定する耐震改修工事状況写真を添えて報告します。この確認書に記載の事項は事実と相違ありません。

確認者氏名 **兵庫 次郎**
 (一級) 建築士 (大臣) 登録第 **〇〇〇〇〇** 号
 建築士事務所名 **(株)兵庫工務店**
 (一級) 建築士事務所 (兵庫県) 知事登録第**〇〇〇〇〇**号

□ 耐震改修工事状況写真

1	住宅の名称	宝塚 太郎 邸
	所在地	〒665-0032 宝塚市東洋町1-3
2	工事写真撮影箇所図※	

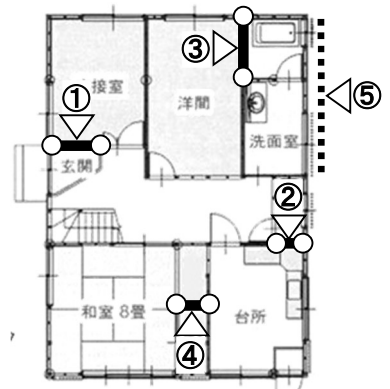
住宅の所在地は地番で表記。

(別紙のとおり)

※ 工事写真撮影箇所図について

- 右図の例にならって撮影箇所を図示してください (別紙可)。
- 補強箇所を明示し、凡例を設ける等して適宜補強方法を付記してください。
- 次頁以降の工事写真には、工事写真撮影箇所図の補強箇所番号を明示してください。

- ※補強内容
- ①構造用合板による壁補強
 - ②構造用合板による壁補強
 - ③筋交い(たすき掛け)による壁補強
 - ④筋交い(片筋交い)、構造用合板による壁補強
 - ⑤基礎補修(エポキシ樹脂)
- ※△は施工方向を表す
 ※○は接合部補強を行う箇所を表す



※ 工事写真について

- 工事写真は次頁様式を参考に、改修前・工事中・改修後の写真を添付してください。

例) 構造用合板による補強、接合部補強を行う場合の写真例

改修前、接合部補強 (柱頭左・柱頭右・柱脚左・柱脚右)、構造用合板 (受材等設置、合板設置)、仕上

写真 No. 1 工事箇所 No.①
工事内容 (構造用合板等補強 : 改修前)

写真 No. 2 工事箇所 No.①
工事内容 (接合部補強 : 柱頭左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 3 工事箇所 No.①
工事内容 (接合部補強 : 柱頭右)

写真 No. 4 工事箇所 No.①
工事内容 (接合部補強 : 柱脚左)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

写真 No. 5 工事箇所 No.①
工事内容 (接合部補強 : 柱脚右)

写真 No. 6 工事箇所 No.①
工事内容 (構造用合板補強 : 受材設置)

(写真を添付)	(写真を添付)
---------	---------

※ この用紙をコピーの上、お使いください。

耐震改修工事実績公表内容報告書

(宛先) 宝塚市長

住宅改修業者登録 兵住改〇〇〇第 〇〇〇〇〇 号
 所在地 〒〇〇〇-〇〇〇〇
 宝塚市〇〇 〇-〇-〇〇
 会社名 (株) 兵庫工務店
 代表者名 兵庫 次郎
 連絡先 (TEL) 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

工事実施業者（様式第耐震2号に記入した業者）が記入して下さい。

下記のとおり、本工事の実績について、報告します。

増築・減築に関らず、改修後の面積をご記入下さい。

記

ここに記載した内容及び業者情報が公表されますので、記入に当っては誤記等のないようご注意ください。

①	工事場所(市町名のみ)	宝塚市
②	補助種別	<input type="checkbox"/> 住宅耐震改修工事費補助 <input checked="" type="checkbox"/> 簡易耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 屋根軽量化工事費補助
③	建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅
④	構造	木造
⑤	建築年月	昭和54年3月
⑥	階数	地上 2 階 地下 - 階
⑦	戸数	1 戸
⑧	延べ面積 (㎡)	110.00㎡
⑨	改修前評点	0.49
⑩	改修後評点	0.75
⑪	補助対象経費 (円)	1,350,000 円
⑫	工事内容	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎、柱、はり、耐力壁等の補強工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事 <input type="checkbox"/> 耐震改修以外の工事(補助対象経費に含んでいる場合のみ)
⑬	延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※	47,203 円

住宅耐震改修工事費補助における改修前評点を簡易耐震診断で算出した場合は、必要ありません。

表下の※の計算式によりご記入下さい。

※補助対象経費(⑪)÷延べ面積(⑧)÷(改修後評点(⑩)-改修前評点(⑨))

端数処理は小数第一位を四捨五入して下さい。

その他共同住宅の場合

⑦戸数…全住戸数を記入

⑪補助対象経費 (耐震改修工事費)

実際の耐震改修工事費用を記入 (補助対象住戸による減額をしない工事費)

様式第16号（第15条関係）

宝塚市住宅耐震化促進事業
補助金請求書

(宛先) 宝塚市長

実績報告書と共に提出して下さい。

令和 年 月 日

この日付は空欄

(申請者)

住所	〒665-0032 宝塚市東洋町1-1
氏名	(※団体の場合は、団体名、役職及び代表者氏名) タカラヅカ タロウ 宝塚 太郎
電話番号	0797-77-1141
電子メール	m-takarazuka0000@city.takarazuka.lg.jp

(上記代理人)

氏名	※事業所等の名称、役職及び担当者氏名 〇〇株式会社 建築 一郎
電話番号	〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇
電子メール	〇〇〇〇@〇〇〇〇

日付・番号は空欄。

令和 年 月 日付け宝建指第 号で補助金額の確定通知を受けた下記の事業の補助金を請求します。

記

1. 補助金額の確定通知を受けた事業

住宅の所在地	宝塚市東洋町1-1		
住宅の所有者氏名 (団体の場合は、その名称及び代表者氏名)	宝塚 太郎	住宅の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一戸建ての住宅 <input type="checkbox"/> その他共同住宅 (長屋・アパート等) <input type="checkbox"/> マンション (3階以上かつ1,000㎡以上)
補助のメニュー※1	簡易耐震改修工事費補助		
請求金額	金 円也		

※1 補助のメニューは、次のいずれかを記載

- 住宅耐震改修計画策定費補助、
- 住宅耐震改修工事費補助、
- 簡易耐震改修工事費補助、
- 屋根軽量化工事費補助、
- シェルター型工事費補助、
- 防災ベッド等設置費補助

請求金額は空欄

振込先を記入

2. 振込先

金融機関名	金融機関名: □□□ 銀行
	支店名: △△ 支店
口座の種別	普通・当座 (該当を○で囲む)
口座番号	〇〇〇〇〇〇〇〇 (右詰めでご記入ください。)
口座名義人	(フリガナ) タカラヅカ タロウ
	宝塚 太郎

【注】口座名義人は、補助金交付申請を行った方の氏名をご記入ください